

種子島日食後記

2009-9-28

隊長：川端孝幸



皆さんお疲れ様でした。日食種子島遠征（7月21～23日）もあっという間に2か月が経過してしまいました。早いですね。とても楽しい、有意義な遠征になりましたが、やはり天候の件は如何ともしがたく、不完全燃焼は否めません。1995年のタイ日食で完璧なダイヤモンドリングを経験して、再度あの興奮を日本国内で実現することにこだわったのにです。このフラストレーションは必ず晴らしてやる。

昨年2008年の夏、今回の日食の地種子島を次男の雄三と訪問しました。観測地の最適地はトカラ列島でしたが、如何せん状況が厳しい。実はトカラ列島の中で中之島は2度訪問していて、その素晴らしさは確認済みです。洋上に突き出した火山島群のひとつである中ノ島には、ご存じの方も多いかと思いますが中之島天文台があります。この天文台がある



高台の牧草地帯からの眺めは最高です。今回は収容人員等の問題で実現しませんでした。是非いつか星空観望ツアーで企画をしたいところです。海岸にある温泉、一面に広がるバナナの森、希少種の野鳥たち、海ではダイビング、大物釣りなど、オプショナルツアー満載です。もちろん夜は中ノ島天文台自慢の三鷹60センチが使いたい放題（たぶん）です。

トカラの件はさて置き、2009年日食観測の地を種子島に決めたまでは良かったのですが、フェリーが確定出来ない、宿が決まらない、観測地の規制が分からないなど、問題山積の状況にいささか閉口しておりました。考えてばかりでは様子が分からないと、ともかく現地を視察した次第です。日食ちょうど



一年前の天候は快晴でした。内容は先にご案内した通りです。鉄砲伝来の地、ウミガメの聖地、ロケット発射基地などこちらも申し分ない日食観測地であることが体感出来ました。



その後、宿の確定、島内バスの確保、フェリーの予約など何とか島内2泊3日のスケジュールを確定することが出来ました。直前まで観測地の門倉岬への入場規制内容が決まらずやきもき致しましたが、これも最終的に警察の特別のはからい(?)で専用スペースでの観測が出来ました。観測レビューはその他の皆様からのご報告に

譲りますが、最終的に大きなトラブル、事故なく終了出来たことに感謝致します。参加の皆様有難うございました。しかし、、、

皆さん、やり残したことがありますよね！来年リベンジされる方もいらっしゃるようですが、リーズナブル遠征をモットーに、2012 南九州金環食、2012 オーストラリア皆既日食を企画します。ご参加お待ちしております～！



南九州金環食と AU 日食マーク